

材料・部材の製品化実証

「研究開発」と「ものづくり」の両面から製品化実証

ポジショニング、課題抽出
に基づく開発方向性明確化

試作実証で製品化課題を明確化
(工程条件、耐久性、安全性)

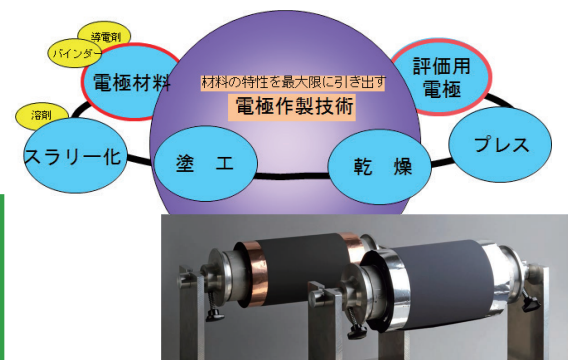
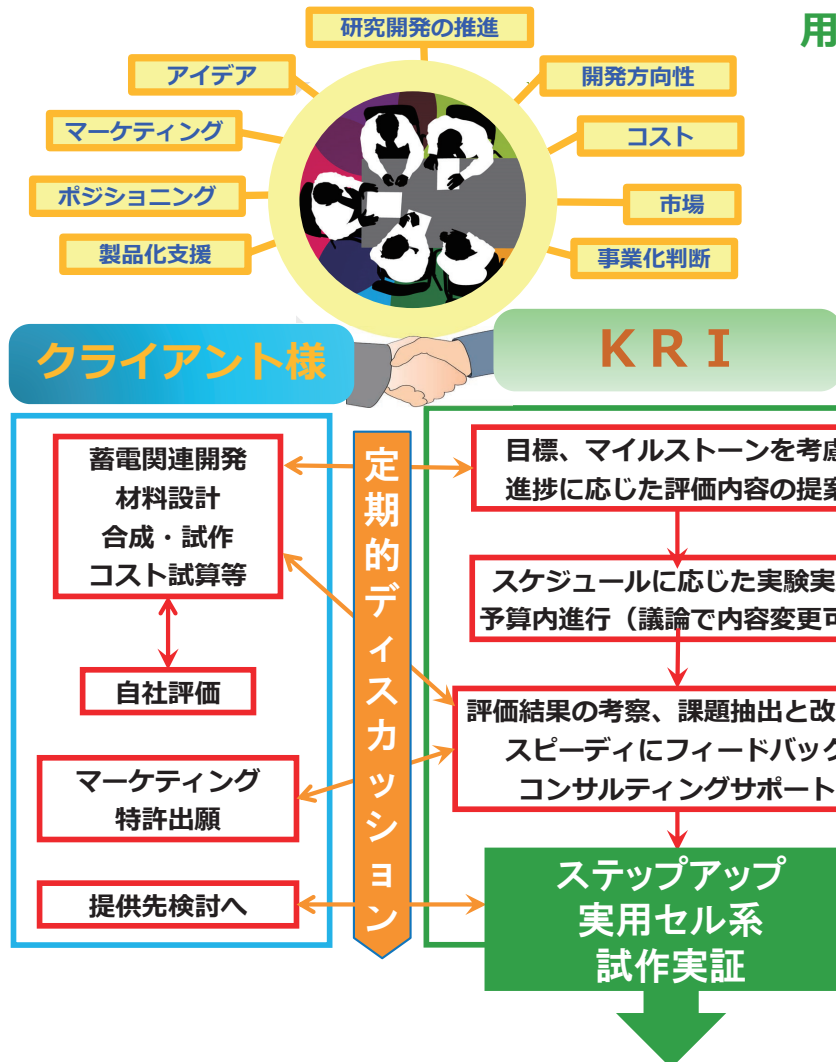
電池材料・部材の評価研究

KRI研究員が評価・開発方向性を一緒に議論

電池材料（正負極活物質、導電材、バインダー、セパレータ、電解液、集電体等）

用途に応じた適切な材料開発指針

- モバイル、xEV、ESSに応じた電極設計
- 組成、目付、密度、電導度、強度等
- 評価対象以外はK R I 標準部材で対応



基本セル特性評価



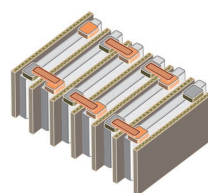
- 充放電特性、内部抵抗、入出力性能
- 耐久性（サイクル、保存）
- ガス発生挙動、解体解析
- 危険性試験におけるメカニズム解析

要求仕様のセル設計への落とし込み 製品化課題明確化（試作実証）

エス・イー・アイ社連携



- K R I 中容量標準ラミネートセル試作（5/10Ah）
- 大型セル作製工程における重要プロセス条件の洗い出し
- 実用セル系レベルでの耐久性試験、充放電時熱的挙動
- 安全性評価（熱暴走挙動、各発熱タイミング）
- 10セル程度のモデルモジュール系評価、類焼試験対応



運転パターン（サイクル）



停止パターン（保存）

